



## 2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月8日

上場会社名 フクビ化学工業株式会社

上場取引所

東・名

コード番号 7871

URL <https://www.fukuvi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 森 克則

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員経営戦略本部長 (氏名) 多比良 幸一 (TEL) (0776)38-8415

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有 (<https://www.fukuvi.co.jp/ir/kessan>)

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

## 1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	9,629	0.7	384	32.2	481	3.7	333	△5.0
2025年3月期第1四半期	9,562	△2.9	290	△16.9	463	△12.0	350	△7.3

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 323百万円(△24.8%) 2025年3月期第1四半期 430百万円(△55.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	16.87	—
2025年3月期第1四半期	17.57	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	53,184	37,266	68.9
2025年3月期	53,237	37,520	68.7

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 36,651百万円 2025年3月期 36,595百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	10.50	—	15.50	26.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	13.50	—	13.50	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、本日公表の「2026年3月期 配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

## 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,000	2.0	920	44.9	985	40.7	690	46.3	34.98
通期	41,460	3.7	2,120	36.8	2,230	18.5	1,560	6.4	79.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期1Q	20,688,425株	2025年3月期	20,688,425株
2026年3月期1Q	964,883株	2025年3月期	964,283株
2026年3月期1Q	19,723,592株	2025年3月期1Q	19,920,245株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

四半期決算補足説明資料は、当社ホームページ(<https://www.fukuvi.co.jp/ir/kessan>)に掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11
(企業結合等関係)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当連結会計年度におけるわが国経済は、緩やかな回復基調を維持したものの、その勢いにはなお弱さが残りました。雇用・所得環境は改善傾向が続いている一方で、物価高への警戒感から消費者の節約志向が強まり、個人消費は横ばい圏で推移しました。また、企業の設備投資は底堅く景気の下支えとなりましたが、輸出は米国の通商政策や駆け込み需要の反動を受けて伸び悩み、生産も横ばいとなりました。このように、物価上昇や通商政策を巡る不透明感が、景気の下振れリスクとして引き続き意識される状況となっています。

このような環境の下、当社グループは、第7次中期経営計画「技術を押出し、未来へワクワク（2023年度～2027年度）」の3年目として、3つの基本方針「循環型ビジネス拡大」、「強靱な収益基盤構築」、「成長を後押しする組織づくり」に基づく各施策に取り組み、企業価値向上に努めています。

当社グループに関連する住宅業界においては、省エネ基準適合義務化などの法改正による駆け込み需要からの反動減で、2025年4月～6月の新設住宅着工戸数は155千戸（前年同期比25.6%減）、床面積は11,827千平方メートル（同26.7%減）となりました。非住宅建築分野においては、民間非居住建築物着工床面積は9,662千平方メートル（同4.2%増）となりました。当社グループでは、今後も持ち家、分譲住宅の新設着工建設減少の傾向は続くとしており、第7次中期経営計画の下、住宅関連では、断熱などをテーマにリフォーム分野の強化を図りつつ、非住宅分野では、将来の成長につながる新たな事業領域の拡大に注力しています。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、96億29百万円と、前年同期に比べ0.7%の増収となりました。利益面につきましては、営業利益3億84百万円（前年同期比32.2%増）、経常利益4億81百万円（同3.7%増）となりました。これは、主に原価低減や価格改定への継続的な取り組みにより売上総利益率が改善（同+0.7ポイント）したことによるものです。一方で、四半期決算における一時的な税金費用の増加等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億33百万円（同5.0%減）となりました。また、営業活動によるキャッシュ・フローは8億64百万円（前年同期比38.8%減）を確保しております。

セグメント別の売上状況は、以下のとおりであります。

なお、2025年4月1日付で実施した組織改編に伴い、当第1四半期連結会計期間より、従来「建材事業」に含めていたアリス化学株式会社を、「その他」に移管しており、対前年同期の増減及び増減率については、前年同期の数値を変更後の区分方法に組み替えた数値に基づいて作成しております。

（金額単位：百万円）

セグメントの名称	前第1四半期累計期間		当第1四半期累計期間		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減比
建材事業	6,171	64.5	6,104	63.4	△67	△1.1
CSE事業	2,537	26.5	2,541	26.4	5	0.2
精密事業	324	3.4	357	3.7	34	10.4
グローバル事業	809	8.5	857	8.9	47	5.9
報告セグメント計	9,841	102.9	9,860	102.4	19	0.2
その他	114	1.2	137	1.4	23	20.1
(調整額)	△393	△4.1	△368	△3.8	25	△6.3
四半期連結損益計算書 計上額	9,562	100.0	9,629	100.0	67	0.7

(注) 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

〔建材事業〕

建材事業では、新設住宅着工戸数が減少傾向にあるため、汎用品の売上高が前年同期比4.1%減と伸び悩みました。中期経営計画における重点事業領域である断熱事業が同10.8%増、環境配慮型商品ブランド『Fukuvalue』は同6.5%増と順調に推移したものの、事業全体では同1.1%の減収となりました。

また、建築物の外構等で使用される再生木『プラスッド』シリーズにおいて、墨流し柄によって経時変化した木の意匠を施した高意匠性の製品「デッキND KKAA」（デザイン監修：隈研吾建築都市設計事務所）を発売いたしました。

〔CSE事業〕

CSE事業では、建築資材系OEM品の中でも床材、窓枠は新設住宅着工の低迷の影響を受けましたが、非建築資材系OEM品は、インバウンド需要によりバスなどの大型車両向け部材が引き続き好調に推移し、前年同期比0.2%の増収となりました。また、注力製品でありますイルミネーション部材『光ガイディングバー』の新規採用が増えております。

また、物流施設や倉庫・工場でのフォークリフトの柱への衝突を回避させる視認材『樹脂製コーナーガード』を発売いたしました。

〔精密事業〕

精密事業では、車載向け反射防止部材は複数の新規案件の出荷を開始し、順調に推移しております。また、カメラやセンサー等の非車載分野でのエンジニアリングセールスが成果を上げ、事業全体では前年同期比10.4%の増収となりました。

また、製造ラインにおける生産性向上に継続して取り組んだ結果、効率が向上し収益性の改善に貢献しました。

〔グローバル事業〕

グローバル事業では、ベトナム・タイの各現法の建材ビジネスが順調に推移しており、更なる事業拡大に向けてASEAN地域での顧客開拓に注力しております。米国現法の建材ブランド製品は回復傾向にありOEM品の販売も順調であったため、事業全体で前年同期比5.9%の増収となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ53百万円(前期末比0.1%)減少し、531億84百万円となりました。主な増減要因としましては、流動資産では、棚卸資産が75百万円増加した一方で、売上債権が3億28百万円減少したこと等により、2億49百万円(同0.7%)の減少となりました。固定資産では、投資有価証券が1億64百万円増加したことや無形固定資産が24百万円増加した結果、1億97百万円(同1.1%)の増加となりました。

## (負債)

負債は、前連結会計年度末に比べ2億1百万円(前期末比1.3%)増加し、159億18百万円となりました。主な増減要因としましては、流動負債では、未払法人税等が1億43百万円減少した一方で、賞与引当金が2億69百万円増加したこと等により、2億31百万円(同1.7%)の増加となりました。固定負債では、主に繰延税金負債が34百万円減少した結果、30百万円(同1.3%)の減少となりました。

## (純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ2億54百万円(前期末比0.7%)減少し、372億66百万円となりました。その他有価証券評価差額金が1億14百万円増加した一方で、為替換算調整勘定が86百万円減少した結果、株主資本合計は336億20百万円、自己資本は366億51百万円となりました。成長戦略の一環として当社の子会社であるリフォジュール株式会社の株式を追加取得したため、非支配株主持分が3億10百万円減少し自己資本比率は68.9%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の経営環境につきましては、材料費や物流費の高止まりに加え、人的資本投資に伴う人件費増を見込みます。一方で、当社グループ独自の技術を活かした製品開発や継続的な原価低減および付加価値に見合うプライシングの検討など収益性を高める施策を確実に推進し、強靱な収益基盤の構築に努めてまいります。このような前提の下、当第1四半期連結累計期間の業績は概ね2025年5月13日公表時点での想定に沿う結果であったことを踏まえ、現時点において前回5月公表の通期連結業績予想を据え置いております。

なお、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。今後の経営環境を踏まえ、業績見込みについて見直しが必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,184	14,155
受取手形、売掛金及び契約資産	8,536	7,587
電子記録債権	5,979	6,601
商品及び製品	3,475	3,606
仕掛品	777	724
原材料及び貯蔵品	1,384	1,381
未収入金	981	980
その他	136	170
流動資産合計	35,454	35,204
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,610	3,543
機械装置及び運搬具（純額）	1,950	2,003
工具、器具及び備品（純額）	198	224
土地	1,911	1,908
リース資産（純額）	423	430
建設仮勘定	163	168
有形固定資産合計	8,256	8,277
無形固定資産		
ソフトウェア	123	230
リース資産	519	525
その他	152	63
無形固定資産合計	794	818
投資その他の資産		
投資有価証券	5,845	6,009
長期前払費用	251	235
退職給付に係る資産	2,144	2,147
繰延税金資産	65	62
その他	428	432
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	8,733	8,885
固定資産合計	17,783	17,980
資産合計	53,237	53,184

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,568	4,721
短期借入金	82	80
1年内返済予定の長期借入金	17	17
電子記録債務	3,931	4,725
未払法人税等	388	246
未払費用	1,124	1,097
リース債務	322	330
有償支給取引に係る負債	504	507
賞与引当金	683	953
役員賞与引当金	14	18
製品補償引当金	47	35
その他の引当金	29	6
その他	684	892
流動負債合計	13,394	13,625
固定負債		
長期借入金	33	33
リース債務	624	630
繰延税金負債	1,308	1,274
退職給付に係る負債	68	64
その他	291	291
固定負債合計	2,323	2,293
負債合計	15,717	15,918
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,194	2,194
資本剰余金	1,511	1,533
利益剰余金	30,465	30,491
自己株式	△598	△598
株主資本合計	33,572	33,620
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,113	2,227
為替換算調整勘定	469	383
退職給付に係る調整累計額	441	421
その他の包括利益累計額合計	3,023	3,031
非支配株主持分	924	615
純資産合計	37,520	37,266
負債純資産合計	53,237	53,184



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	9,562	9,629
売上原価	6,677	6,653
売上総利益	2,885	2,976
販売費及び一般管理費	2,595	2,592
営業利益	290	384
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	100	97
為替差益	69	—
その他	23	35
営業外収益合計	192	133
営業外費用		
支払利息	1	1
為替差損	—	23
債権売却手数料	4	4
クレーム補償費用	9	5
その他	4	3
営業外費用合計	19	36
経常利益	463	481
特別利益		
製品補償引当金戻入益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
有形固定資産除却損	0	0
投資有価証券売却損	4	—
特別損失合計	4	0
税金等調整前四半期純利益	459	481
法人税、住民税及び事業税	231	204
法人税等調整額	△129	△66
法人税等合計	101	137
四半期純利益	358	343
非支配株主に帰属する四半期純利益	8	11
親会社株主に帰属する四半期純利益	350	333

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2025年4月1日 至2025年6月30日)
四半期純利益	358	343
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△40	114
為替換算調整勘定	127	△114
退職給付に係る調整額	△15	△20
その他の包括利益合計	72	△20
四半期包括利益	430	323
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	393	341
非支配株主に係る四半期包括利益	37	△18

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント					その他 注1	調整額 注2	四半期連結損益計 算書計上額 注3
	建材 事業	CSE 事業	精密 事業	グロー バル 事業	計			
売上高								
一時点で移転される財	5,306	2,537	324	521	8,688	65	—	8,753
一定の期間にわたり移転される財	809	—	—	—	809	—	—	809
顧客との契約から生じる収益	6,115	2,537	324	521	9,497	65	—	9,562
外部顧客への売上高	6,115	2,537	324	521	9,497	65	—	9,562
セグメント間の内部売上高 又は振替高 注4	56	—	—	288	344	49	△393	—
計	6,171	2,537	324	809	9,841	114	△393	9,562
セグメント利益又は損失(△)	864	71	3	△60	879	△73	△515	290

(注) 1. その他には報告セグメントに含まれない新規事業が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△515百万円には、セグメント間取引消去13百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△528百万円が含まれています。全社費用は、主に提出会社の管理部門に係る人件費及び経費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. セグメント間の内部売上高又は振替高は、市場価格を勘案して協議によって決定しております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 注1	調整額 注2	四半期連結損益計 算書計上額 注3
	建材 事業	CSE 事業	精密 事業	グロー バル 事業	計			
売上高								
一時点で移転される財	5,215	2,541	357	606	8,719	73	—	8,792
一定の期間にわたり移転される財	837	—	—	—	837	—	—	837
顧客との契約から生じる収益	6,052	2,541	357	606	9,556	73	—	9,629
外部顧客への売上高	6,052	2,541	357	606	9,556	73	—	9,629
セグメント間の内部売上高 又は振替高 注4	53	1	—	250	303	65	△368	—
計	6,104	2,541	357	857	9,860	137	△368	9,629
セグメント利益又は損失(△)	862	141	36	△16	1,023	△74	△564	384

(注) 1. その他には報告セグメントに含まれない新規事業が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△564百万円には、セグメント間取引消去6百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△570百万円が含まれています。全社費用は、主に提出会社の管理部門に係る人件費及び経費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. セグメント間の内部売上高又は振替高は、市場価格を勘案して協議によって決定しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの変更に関する事項)

2025年4月1日付で実施した組織改編に伴い、当第1四半期連結会計期間より、従来「建材事業」に含めていたアリス化学株式会社を、「その他」に移管しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後のセグメント区分に基づき作成したものを開示しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。  
 なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	319百万円	320百万円

(企業結合等関係)

(共通支配下の取引)

(子会社株式の追加取得)

当社は、会社法第370条及び当社定款第25条第2項に基づき、当社の子会社であるリフォジュール株式会社の株式を追加取得し、完全子会社といたしました。

1. 企業結合の概要

(1) 結合当事企業の名称及び事業の内容

企業の名称 リフォジュール株式会社

事業の内容 天井材・内装材の施工および販売

(2) 企業結合日

2025年4月10日(株式取得日)

(3) 企業結合の法的形式

非支配株主からの株式取得

(4) 結合後企業の名称

変更はありません。

(5) その他取引の概要に関する事項

成長戦略の一環として、工事事業を推進・拡大するため、株式会社八木熊が保有する株式を全て取得し、完全子会社とすることといたしました。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号2019年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引等のうち、非支配株主との取引として処理しております。

3. 子会社株式の追加取得に関する事項

取得の対価 現金

取得原価 280百万円

4. 非支配株主との取引に係る当社の持分変動に関する事項

①資本剰余金の主な変動要因

子会社株式の追加取得

②非支配株主との取引によって増加した資本剰余金の金額

5百万円